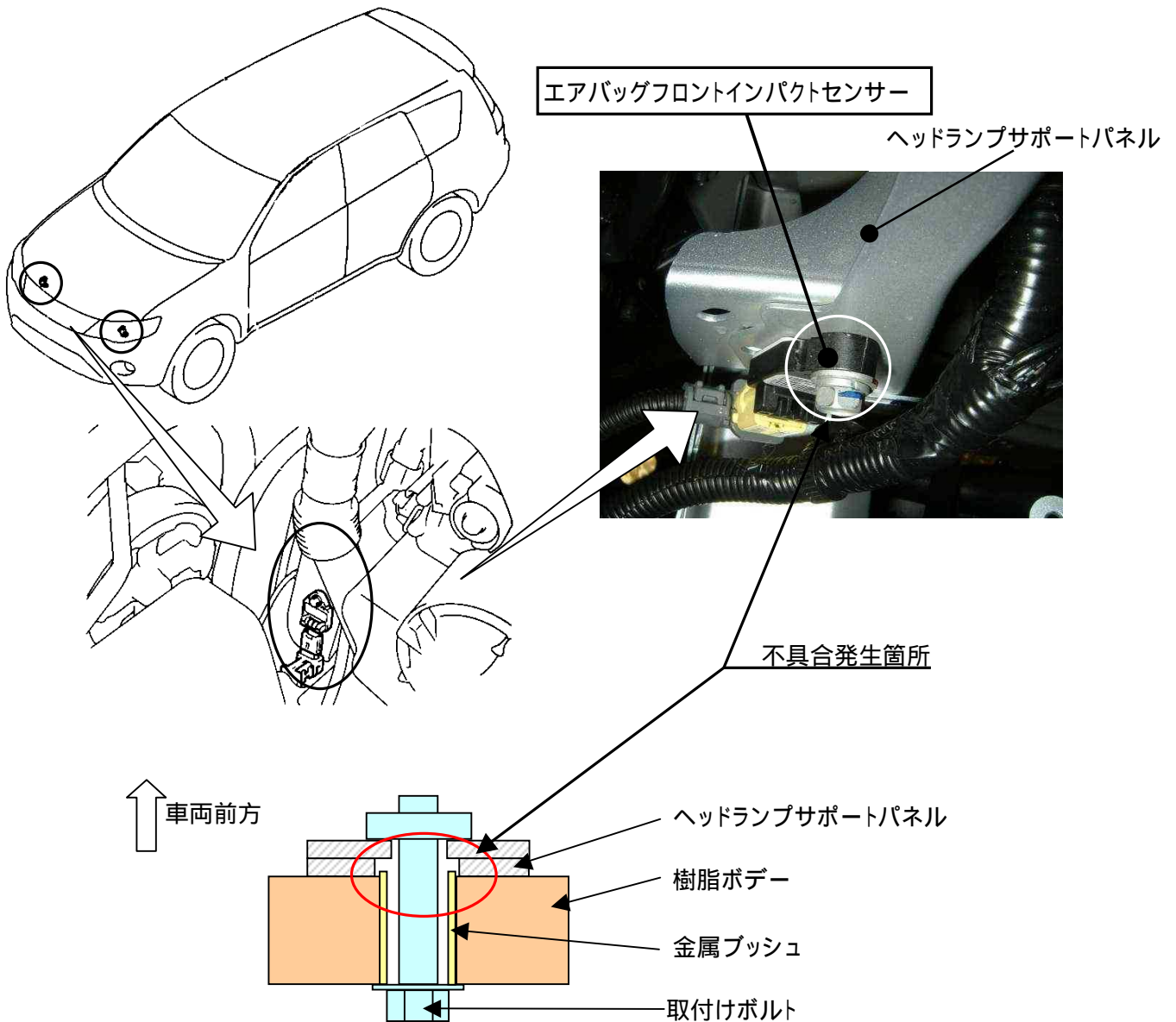


改善箇所説明図



オフセット衝突をした際に、衝撃を早期に検出するフロントインパクトセンサーの取付け構造が不適切なため、取付けボルトが緩むことがある。そのため、オフセット衝突時に当該センサーが衝撃を検出せず、衝撃の検出が遅れ、エアバッグの点火タイミングに一瞬遅れが生じ、意図した性能が得られなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、エアバッグフロントインパクトセンサー取付部に金属プレートを追加し、当該センサーを新品と交換する。

注：図中の 内は交換部品を示す。

識別：なし（金属プレートの有無により、容易に識別可）